

＝令和6年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー研修大会＝

日 時：令和6年8月5日（月）

会 場：○新潟県立教育センター（メイン会場）

新潟県新潟市西区曾和100番地1

○上越教育大学学校教員養成・研修高度化センター（サテライト会場）

新潟県上越市西城町1丁目7-2

◇実施報告

令和6年8月5日（月）に、「令和6年度 上越教育大学上廣道德教育アカデミー研修大会」を実施しました。本大会は、新潟県立教育センターをメイン会場、上越教育大学学校教員養成・研修高度化センターをサテライト会場とし、両会場をオンラインで繋ぐサテライト方式で開催しました。また、佐渡市の先生方からは、オンラインでご参加いただきました。

小学校で道徳が教科化されてから、6年（中学校は5年）が経過しました。

文部科学省が令和3年度に行った「道徳教育実施状況調査」の報告書（2022）には、道徳が教科化されて以降、道徳科に関する教師の不断の授業改善や評価の改善への取組が着実に進展していることが示されています。しかし、学校・教育委員会ともに、「一層の授業改善がさらなる充実に向けた最も大きな課題」と認識しています。これは、授業の量的確保や教師の意識向上といった、道徳科に関するこれまでの課題を克服してきたからこそ見えてきた、建設的な課題であると考えます。

そこで、学習指導要領の趣旨を踏まえ、改めて道徳科の意義を見つめ直すことで、さらなる授業改善を図り、教員の授業力の向上を実現したいと考え、本大会を企画しました。

当日は、県内の教育関係者を中心に、全国から70名の方にご参加いただきました。

開会式では、大会事務局長の菅原友和（上廣道德教育アカデミー特任准教授）の司会のもと、本学学長の林泰成（上廣道德教育アカデミー統括監督者）が主催者を代表して挨拶し、その後、大会実行委員長の早川裕隆（上廣道德教育アカデミー所長）が趣旨説明を行いました。

主催者挨拶 学長 林 泰成



趣旨説明 実行委員長 早川 裕隆



続いて、十文字学園女子大学 教育人文学部教授 浅見哲也様（元 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官）より、「道徳科の意義を考えるー学習指導要領の趣旨を踏まえてー」と題し、基調講演を行っていただきました。浅見先生からは、学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳科の在り方についてお話しいただくとともに、ICT を効果的に活用した実践例等を紹介されながら、「令和の日本型学校教育」を意識した道徳科及び道徳教育の進め方について、ご指導いただきました。

<基調講演の様子> 講師 浅見 哲也様



また、秋田公立美術大学 理事兼副学長 毛内嘉威様（文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者）からは、「道徳科の意義を踏まえた授業の在り方について」と題し、講話と演習を行っていただきました。講話では、子どもの発達段階や教材の特性を踏まえた授業づくりの在り方について、ご指導いただきました。また、実際の教材を用いた授業の発問について考える演習では、参加者同士で活発に話し合う様子が見られました。

<講話・演習の様子> 講師 毛内 嘉威 様

演習の様子





演習の様子（佐渡会場と繋いで）



演習の様子（上越会場と繋いで）



上越会場・佐渡会場を繋いだ様子



その後の分科会では、各会場でグループに分かれ、基調講演及び講話・演習を受講して学んだことや自らの実践に生かしていきたいことを共有しました。その上で、日頃の道徳授業を実践する上での疑問や不安、困っていること等の情報交換を行い、その克服について協議するとともに、その場で解決できなかった課題の中からシンポジウムに取り上げてほしい話題について、話し合いました。

<分科会の様子> 新潟会場



<分科会の様子> 上越会場



分科会の後、「これからの道徳科を考えるー道徳科の意義を踏まえてー」をテーマとし、シンポジウムを行いました。冒頭では、当アカデミー特任准教授の菅原友和、丸山大貴より、学校現場が抱える道徳科の現状について、日頃の派遣を通して感じていることをもとに、話題提供を行いました。次に、各分科会で出た意見について、当アカデミー客員講師の広中忠昭、小宮健及び特任教授の櫻井雅明が報告を行いました。その後、本学学長林泰成のコーディネートのもと、浅見哲也先生、毛内嘉威先生を加えた4名のシンポジストによる議論が行われました。さらに、参加者からの質問にシンポジストが答える形で、協議が続けられました。

<シンポジウムの様子>

話題提供 菅原 友和 特任准教授



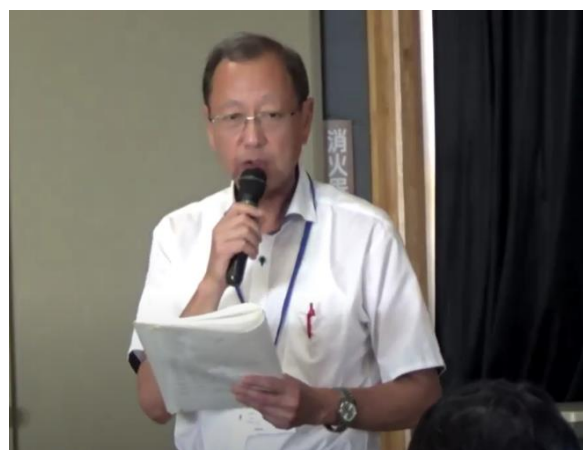
話題提供 丸山 大貴 特任准教授



分科会報告 広中 忠昭 客員講師

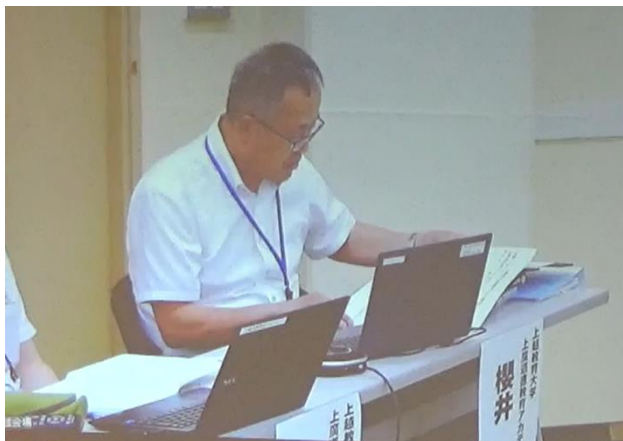


分科会報告 小宮 健 客員講師





分科会報告 櫻井 雅明 特任教授



コーディネーター 林 泰成 学長



シンポジスト 浅見 哲也 様



シンポジスト 毛内 嘉威 様



新潟会場内からの質問の様子



上越会場からの質問の様子



閉会式では、公益財団法人上廣倫理財団 事業部シニアマネージャーの上田博次様より、ご挨拶をいただきました。

<閉会式の様子> 上廣倫理財団 上田 博次 様



終日、参加者は、講師の方々の話に熱心に耳を傾けていました。また、各会場で行われた分科会では、参加者から多くの発言が出されるとともに、参加者同士での交流も、活発に行われました。

大会終了後のアンケートでは、参加者から、「指導要領や指導方法で何気なく使っていた言葉の背景や根拠を知ることができた。」、「理論と実践どちらについても扱っていただいたので、非常に勉強になりました。分科会では学年ごとだったので、ざっくばらんに悩みを相談できて良かったです。」、「実践にもとづいた内容となっていた。発問の立て方、実践例、質疑応答等、知りたいことを学べる時間となった。」といった肯定的な意見が多く見られました。これらの意見から、本大会が参会者にとって、充実した研修の機会となったことがうかがえます。